



(校名の由来額)



(細江利夫会長)

享栄会報

令和2年1月吉日
第46号

名古屋市瑞穂区
汐路町1-26

享栄同窓会事務局
052-841-8151

本年度は中止とさせていただきます。

次回総会及び懇親会のご案内

令和2年度
享栄同窓会総会・懇親会を次の通り開催する予定です。
会員誘い合わせて是非ご参加ください。

- 一、日時 令和2年5月16日(土)
- 二、時間 午後5時～午後8時
- 三、場所 ローズコートホテル
- 四、会費 三、〇〇〇円
- 五、議題
 - 一、令和元年度事業報告
 - 二、令和元年度収支決算報告
 - 三、令和2年度事業計画(案)
 - 四、令和2年度収支予算(案)
 - 五、役員改選

追記

- ① 準備の都合もありますので、出席される方は令和2年4月末日までに事務局へご連絡ください。
- ② 本会報ご入用の方は事務局までご連絡ください。





同窓会のみなさまへ

享栄同窓会会長

細江 利夫
(昭和40年卒)

会員の皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

日頃より同窓会活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

この度、享栄高校の長谷川信孝理事長におかれましては、栄誉ある瑞宝小綬章を受章されました。

誠にありがとうございます。心よりお慶び申し上げます。

皆様ご承知とは存じますが同窓会の活動目的についてお話しをします。活動目的とは、享栄学園創立の精神に基づき会員相互の交流を図り併せて母校の発展に寄与することであり、毎年の趣旨に基づき、毎年開催される総会、

懇親会には大勢の方に参加いただき心より感謝しております。

令和元年五月開催の際には約二百五十名の方に集まっていたいただき、世を超え相互の親睦をはかることができました。

令和二年五月の総会には皆様の参加をお待ちしております。そして、在校生の皆様には日々

学業、部活動に精進され、ご活躍されますことを願っております。

今後の享栄高校の発展と同窓会の一層の充実のためにご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが会員の皆様のご多幸をご祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。



同窓会のみなさまへ

愛知享栄学園理事長
享栄高等学校校長

長谷川信孝

同窓会の皆さまには、日頃本校の教育にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

五月に行われた総会には、昨年引き続き多くの会員の皆さまが参加され、私ども教職員一同久しぶりにそれぞれの卒業生と昔話ができ楽しい一時を過ごしました。また、今年の総会は例年になくこの数年の卒業生が多く参加し和やかな非常に良い雰囲気でした。今後、同窓会の執行部には、若い卒業生たちがさらに多く参加できるよ

うな総会を企画運営するよう期待します。

学校の様子ですが、三年生は、九月からの就職戦線がほぼ終盤にきており、今年の就職内定率は十月十日現在学校紹介二百十五名の内男子90.5%、女子78.1%と昨年並みとなりました。進学については、これから各種専門学校の入試が始まり、大学等は十一月より開始されます。

二年生は、八月末から九月初旬にかけて北海道修学旅行を実施

していますが、昨年は地震のため、停電等で非常に苦労しましたが、今年は何も問題なく実施できました。

また、今年初めて鹿児島屋久島方面の修学旅行を実施し、非常に好評でした。これで道南(千歳空港―旭川動物園―札幌―小樽―ニセコ―洞爺湖―登別―千歳空

港)・千歳空港―札幌―北海道情報大学研修―小樽―洞爺湖―大沼公園―五稜郭―函館空港)・道東(旭川空港―動物園―富良野―阿寒湖―摩周湖―知床半島―網走―

女満別空港)・鹿児島屋久島(鹿児島空港―城山―知覧―指宿―屋久島―屋久杉―カヌー体験―

白谷雲水峡―宮之浦港―鹿児島空港)。北海道三コース、鹿児島屋久島コースの四コース修学旅行を実施し、どのコースも生徒たちには好評でした。

一年生については、学校生活にも慣れ元気に過ごしており、現在は、二年次に向けて再度自分の進路をどうするかを考えてコース選択の希望調査をしているところであり

ます。

最後に本校の教育の目標は「丁寧な教育」を掲げております。生徒減少の難しい現状の中、全教職員がもう一度原点に立ち、「教育目標の基本理念である「教師が変われば生徒が変わる、生徒が変われば学校が変わる」を基にして、生徒一人ひとりを大切に「教育」を地道に努力し、中学校や地域住民から評価を受け、学校全体が本当に落ち着きのある学校となるよう教職員一同力を合わせてやっていく所存であります。同窓会の皆様においても、本校の学校教育にご理解ご協力をお願いいたします。

教育実習を終えて



名城大学 理工学部
数学科 四年生

山田 武尊

(平成28年卒)

この度、享栄高等学校で三週間の間、教育実習をさせていただきました。

教育実習に何う前、私が在籍していた特進飛翔コースとは違う本校舎のクラスで実習をさせていただくと伺い、多人数の学級で授業をしなければならぬことに少しの不安がありました。ですが、実習初日には私を大変温かく出迎えてくれ、不安は薄れたような気が

がしました。

それにより、良くも悪くも賑やかな学級で私自身も楽しく三週間の間、実のある授業ができたと思っております。そんな中でも、教育実習生の私に対して「先生の授業は分かりやすい」と言ってくれたことや、たくさん生徒が私に対し、質問をしてくれてくれたことは教育実習生ではなく教師として私を見てくれていたような気がして、こ

れから教壇に立とうとしている私に自信を与えてくれました。加えて、授業以外の場面でも放課後や授業後にたくさん生徒が自分と話しかけてくれて教科指導以外の面でも信頼してくれているのだと実感することができました。

また、実習最終日に花束と生徒全員からのメッセージを載せた色紙を頂きました。皆で集合写真を撮ったときは涙が出そうなくらい嬉しかったです。この思い出は私の一生の宝物です。大切な経験をした生徒には感謝しています。そして、生徒だけではなく様々な先生方にも感謝することがありました。

まず、担当教諭の杉浦先生は私が授業をする度に的確なご指導をしてくださりました。例えば、教科の細やかな指導、授業の進め方、生徒指導などがありました。それから、自分が面識のない先生方の授業を見学する際には杉浦先生からも言お声がけをしてくださるなど、様々な配慮をしてくださいました。そのおかげで何の不自由もなく実習生活を送ることができたと思います。

また、それ以外の先生方につきましても自分がわからないことがあると親身にご指導してくださりました。実際に、実教生のオリエンテーションの場では、生徒指導、学

年目標、学年運営、教科指導についての講話をしてくださり、それぞれがどういった目的でどのような目標をもつて行われているかを丁寧に教えていただき、学校経営の仕組みについても知ることができました。

三週間という短い期間ではありましたが、たくさん先生方がサポートしてくださったからこそたくさんの経験を得ることができたと思います。自らが教壇に立つたときに、これらの経験を活かせるよう、教師になるための努力をしていきたいと思えました。三週間ありがとうございました。



愛知みずほ短期大学
生活学科 二年生

木村 華歩

(平成30年卒)

小学生の頃から憧れてきた養護教諭という仕事に二歩近づいたために、今回の実習はとても有意義なものになりました。私の中で特に大きな変化があったのは、預かる命への覚悟です。私は今まで、命を軽く見てはいけないということを理解しているつもりでした。しかし、実際に生徒の命を預かる立場になると何も理解していなかったことを思い知らされました。個人

の特徴や性格から、今何を求めているのか、自分が今できることは何なのか、それを実現するために教員内でどう動くのかを考えずにうかつな行動をすると、生徒を思いがけない危険にさらしてしまうことを知りました。実際に、実習中の私の身勝手な行動の為、間違いを起こしそうな場面がありました。その時になってやっと命を預かる上での責任を知り、深く反

省をしました。もう一つ実習の中で学んだのは、生徒の命を預かる上で大切な、教員内の連携の重要性です。課題が二つ浮かび上がったとして、それを解決するために養護教諭が動くとする、どこかの段階で必ず足りない情報がでてきます。養護教諭は、どちらかというと師弟関係というよりか同じ目線で関わることのできる親友の様だと言えます。先生と生徒という立場が変わりはありませんが、成績で評価しない分関わりやすいのは事実です。しかし、それゆえに知ることもできない生徒の別の顔があるのも確かです。その為、補いあうように

教員内での情報交換が大切となります。養護教諭が立てた計画を実行するにも担任や学年主任など、生徒と深く関わる立場の教員の協力が必要となります。こうして学習面でも生活面でも教員が連携をしながら学校が回っているため、苦労することも勉強することとたくさんありました。

大学ではよく、養護教諭は生徒に暇そうに見られたら勝ちだと言われます。それは、忙しそうにしてると生徒の心にも余裕ができません。話しかけにくくなってしまうからです。実習に来る前はあまり理解できていなかったのですが、実習が終わってからは意味が良く分

かりました。ほぼ毎時間忙しくて、暇そうになってまったく見せられませんでした。そんな余裕をみせている先生方には本当に驚かされました。実習を行わなければ知ることのできなかった、学校の授業だけでは学ぶことのできない知識をたくさん身につけることができたので、この事をこれからの授業に活かしてより多くのことを学んでいきたいと思えます。

三週間ありがとうございました。

小学生の頃から憧れてきた養護教諭という仕事に二歩近づいたために、今回の実習はとても有意義なものになりました。私の中で特に大きな変化があったのは、預かる命への覚悟です。私は今まで、命を軽く見てはいけないということを理解しているつもりでした。しかし、実際に生徒の命を預かる立場になると何も理解していなかったことを思い知らされました。個人

の特徴や性格から、今何を求めているのか、自分が今できることは何なのか、それを実現するために教員内でどう動くのかを考えずにうかつな行動をすると、生徒を思いがけない危険にさらしてしまうことを知りました。実際に、実習中の私の身勝手な行動の為、間違いを起こしそうな場面がありました。その時になってやっと命を預かる上での責任を知り、深く反

省をしました。もう一つ実習の中で学んだのは、生徒の命を預かる上で大切な、教員内の連携の重要性です。課題が二つ浮かび上がったとして、それを解決するために養護教諭が動くとする、どこかの段階で必ず足りない情報がでてきます。養護教諭は、どちらかというと師弟関係というよりか同じ目線で関わることのできる親友の様だと言えます。先生と生徒という立場が変わりはありませんが、成績で評価しない分関わりやすいのは事実です。しかし、それゆえに知ることもできない生徒の別の顔があるのも確かです。その為、補いあうように

教員内での情報交換が大切となります。養護教諭が立てた計画を実行するにも担任や学年主任など、生徒と深く関わる立場の教員の協力が必要となります。こうして学習面でも生活面でも教員が連携をしながら学校が回っているため、苦労することも勉強することとたくさんありました。

大学ではよく、養護教諭は生徒に暇そうに見られたら勝ちだと言われます。それは、忙しそうにしてると生徒の心にも余裕ができません。話しかけにくくなってしまうからです。実習に来る前はあまり理解できていなかったのですが、実習が終わってからは意味が良く分

教育実習を終えて



中部大学 工学部
応用化学科 四年生

森 真亜知

(平成28年卒)

今年の六月に教育実習生として母校である享栄高等学校でお世話になりました。卒業してから四年という年月が経ち久々に校門をくぐり中に入ると懐かしい思い出が蘇りました。

つ立ち場であると実感し、よりいっそう気を引き締めなければならぬと感じました。教育実習中は、指導教師及び教科指導を神谷先生が引き受けて下さいました。教師としての生徒の接し方に関してどのように接することが生徒にとって良いのかとても悩みました。

しかし、戸惑いながらも生徒に話しかければ生徒は普通に答えてくれ少し悩みが和らぎました。授業観察では理科の授業を観察しました。クラスの雰囲気や生徒一人ひとりによって話し方やテンポ、間のとり方など少しずつ変えていたりして二つの授業を行ううえで多くの技術が使われていることを知りました。授業実習も始まり自分に足りないものが多くあると改めて実感しました。一つの事を説明するにしても話すのか黒板に書くのか、話し方や黒板の書き方で大きく変わる。生徒にとってどう伝えることが最善なのか分からず思うように授業を行うことができませんでした。ですが神谷先生、佐橋先生、大島先生、鈴

木準平先生を始め多くの先生方のご指導のおかげで少しずつ授業のやり方や教員としてのあり方を学ばせて頂きました。生徒に伝えるべきことを正確に伝えることができる話術と伝えるべきことを伝えるために必要な知識、この二つが教師にとって必須のものであることを実感しました。

教育実習では授業の他に体力測定にも参加させてもらいました。普段学校の教室でしかありえない生徒と一日一緒に過ごす時間はとても貴重な経験で多くの生徒と話すことができました。それにより生徒との距離を縮めることができその後の実習の日々に大きく良い影響を与えてくれました。今回の教育実習では教員としての責任や厳しさを身をもって知ることができました。常に学習し自分には足りないことを無くしていかなければならないことを学びました。この教育実習で得た経験は教員としてだけではなく人としても大きく成長させてくれたと感じています。

最後に神谷先生や理科の先生を始め享栄高等学校の先生方のおかげでこの二週間本当に貴重な経験をさせて頂くことができました。短い間でしたがお世話になりました。素晴らしい時間をありがとうございました。



享栄高等学校の近況報告

1. 管理職

理事長校長	長谷川信孝	学園長	鈴木文悟	管理部長	山田憲彦
副校長	村松利之	教頭	尼子理志	教頭	登地宏光
教頭補佐	鈴木良隆	教頭補佐	水野敏伸	事務長	坂野勝彦

2. 教職員数

教職員	非常勤	合計
123	31	154

3. 在籍生徒数

	1学年	2学年	3学年	全体
男子	399	361	442	1202
女子	191	174	194	559
合計	590	535	636	1761

4. 校訓

「誠実で信頼される人に」(建学の精神)

5. 基本理念

「教師が変われば生徒が変わる。生徒が変われば学校が変わる」を基にして、生徒一人ひとりを大切にし、自己実現を図ることができる教育

6. 目指す学校像

「面倒見の良い学校」

- きめ細かく丁寧な教育をする学校
- 夢と感動のある学校
- 地域に評価される学校

7. 平成30年度 卒業生の進路結果 (683名卒業)

	卒業	大学	短大	専門	就職	その他	
普通科	285	148	12	80	37	8※1	主な大学名: 愛知県立大学・大分大学・中央大学・東洋大学・亜細亜大学・武蔵野大学・獨協大学・工学院大学・東京工科大学・立命館大学・関西大学・近畿大学・大阪芸術大学・日本歯科大学・松本歯科大学・日本薬科大学・愛知大学・中京大学・名城大学・愛知学院大学・金城学院大学・愛知淑徳大学・椋山女学園大学・愛知工業大学・中部大学・名古屋外国語大学・名古屋女子大学・名古屋学院大学・大同大学・同朋大学・名古屋学芸大学・東海学園大学・日本福祉大学・皇學館大学・名古屋商科大学・名古屋経済大学・中部学院大学・岐阜聖徳学園大学 他 主な就職先: トヨタ自動車(株)・トヨタ車体(株)・日本製鉄(株)・名古屋鉄道(株)・(株)アドヴィックス・アイシンエィダブリュ(株)・豊田合成(株)・愛三工業(株)・愛知機械工業(株)・住友理工(株)・住友ゴム工業(株)・シロキ工業(株)・(株)パロマ・JFEスチール(株)・山崎製パン(株)・ユニチカ(株)・(株)名古屋三越・(株)名鉄百貨店・(株)エディオン・(株)カインズ・王子ネピア(株)・(株)フィールコーポレーション・UACJ(株)・アンデン・丸電工(株)・自衛隊 他
商業科	190	22	4	53	106	5※2	
機械科	208	14	0	26	168	0	
合計	683	184	16	159	311	13	

※1 進学浪人8 ※2 進学浪人2 留学3(韓国2 カナダ1)

8. 平成30年度 部活動・個人の活躍

軟式野球部	東海高等学校総合体育大会	優勝
卓球部	県冬季卓球新人大会	男子シングルス ブロック優勝 荻谷武彦
ボクシング部	県高等学校総合体育大会	L・フライ級 準優勝 中野 淳 ライト級 優勝 大橋 蓮
		L・ウェルター級 優勝 金本颯太
	東海高等学校総合体育大会	ライト級 3位 大橋 蓮 L・ウェルター級 準優勝 金本颯太
	国民体育大会県予選	バンタム級 準優勝 安井虎之介 ライト級 優勝 大橋 蓮
		ウェルター級 優勝 中村健成
	国民体育大会東海大会	ライト級 優勝 大橋 蓮
	国民体育大会・福井県	バンタム級 準優勝 内山雄平(教員)
	県高等学校新人体育大会	バンタム級 優勝 墨 亮多 準優勝 安井虎之介
		ライト級 準優勝 大橋 蓮 ウェルター級 優勝 中村健成
		学校対抗の部 優勝
全日本女子大会県予選	バンタム級 優勝 大橋 月	
情報技術同好会	全日本社会人選手権大会	バンタム級 優勝 内山雄平(教員)
	ソーラー・人力ボートレース全日本選手権大会	人力ボートクラス 出場
	堀川エコロボットコンテスト	瀬戸信用金庫理事長賞 浄化アイデア賞
その他	全日本スキー選手権大会 スノーボード競技	ビックエア 3位 木俣椋真 スロープスタイル 3位 木俣椋真
	FIS 2019 JAPAN SLOPESTYLE OPEN HANAZONO CUP	優勝 木俣椋真
	Toyota U.S. Revolution Tour Copper Mountain SS	優勝 木俣椋真

9. 平成31年度の主な学校行事

月	行 事
4	5日 入学式 8日 始業式 9～19日 個人面談指導 10～15日 保護者会 13日 学級懇談会 10～12日 特進・躍進1年生野外合宿 11～13日 総合1年生野外合宿
5	16～21日 中間試験 18日 PTA総会・同総会総会 22日 映画鑑賞会 27～6/15日 教育実習
6	1日 創立記念日 3～14日 研究授業週間 15日 土曜セミナー・清掃ボランティア 2～7/8日 特進海外研修(ケアンズ) 26～7/2日 期末試験 29～7/8日 躍進海外研修(ケアンズ)
7	1日 求人受付開始 9日 球技大会 19日 終業式 20～24日 保護者会 23～26日 特進躍進学習合宿
8	1日 全校登校日 2日 第1回体験入学会 19日 全校出校日 20日 第2回体験入学会 20～23日 インターンシップ 21～23日 3年生面接指導 26～9/3日 メディアコース北海道研修・修学旅行 30日 始業式
9	2日 第1回防災訓練 3～7日 北海道修学旅行 10～13日 南九州修学旅行 17日 タウンサークル 21日 土曜セミナー 26～27日 文化祭
10	2日 体育祭 15～18日 中間試験 19日 土曜セミナー 28～11/8日 研究授業週間
11	2日 第1回学校説明会 9日 第2回学校説明会 13日 演劇鑑賞会 16日 第3回学校説明会 23日 第4回学校説明会 25～29日 期末試験 30日 第5回学校説明会
12	2～6日 スポーツコース修学旅行(グアム) 7日 第6回学校説明会 17～20日 保護者会 23日 終業式
1	7日 始業式 14～17日 卒業試験 18～19日 センター入試 29日 推薦入試
2	4日 一般入試 12日 予餞会 20日 卒業式 25～3/2日 学年末試験
3	3日 第2回防災訓練 19日 終業式 23日 新入生登校日

部活動だより

硬式野球部

【総監督】柴垣 旭延



【部 長】細川 将功



【監 督】大藤 敏行



【副部長】彦坂 明人



上野 文也



【コーチ】野地 雄次



杉本 力也



卒業生の皆様には、平素よりご支援ご協力を賜り有難うござい

ます。本年度の顧問は、昨年新チームより監督に就任しました大藤敏行はじめ、部長・細川(商業)・副部長・彦坂(体育)・上野(社会)・コーチ・野地(体育)・杉本(社会)・外部コーチ・小川宗直、総監督としてチームを支えて頂いております柴垣を合わせ計八名の顧問団で生徒達をサポートしていく体制になります。部員は三年生二十七名、二年生二十三名、年生二十五名の合計七十五名です。

夏季大会におきましては大変暑



援を頂きまして誠にありがとうございます。今大会は、昨年度より就任しました大藤監督が享栄高校での夏の大会初陣ということもあり、例年以上に生徒達も気合が入っており、連日の厳しい練習にも熱が入り大会に向けより良い準備が出来ていました。周囲の期待も大きく、私共も夢の実現を疑うことなく臨んだ夏季大会でしたが4回戦、星城高校に二対七で敗退致しました。強豪ひしめく愛知県で勝つことの難しさを改めて思い知らされました。

『人間の成長なくして技術の進

歩なし』大藤監督が口癖のように発する言葉が今後の享栄高校の明るい未来を予言するものと思えます。更なる『人間の成長』を遂げ、『強い享栄』を目指し今後も精進していく所存です。

新チームは、七月二十日よりスタート致しました。1・2年生には、3年生の思いを引き継ぎ、きつと良い結果を出してくれるものと期待しています。

現在、チーム内では、激しい競争が繰り広げられ今までも増して活気溢れるグラウンドとなっております。今後とも応援よろしくお願

『走姿顕心(そうしけんしん)』

第七十二回愛知県高等学校野球選手権大会

平成三十年九月十七日

(春日井市民球場)

(二回戦)

明 和 3003000000 6

享 栄 0030002200 7

平成三十年九月二十二日(刈谷球場)

(三回戦)

享 栄 1000000000 1

西尾東 0101000000 2

第六十九回愛知県高等学校優勝野球大会

平成三十二年四月二十日(小牧市民球場)

(二回戦)七回コールド

享 栄 0104210 8

大 同 00000000 0

平成三十二年四月二十日(小牧市民球場)

(三回戦)

豊橋中央 100010003 5

享 栄 22001001x 6

平成三十年四月二十七日(岡崎市民球場)

(準々決勝)延長13回タイブレーク

享 栄 000000000001 1

中興春暉 000000000000 0

平成三十年四月二十八日(岡崎市民球場)

(準決勝)

愛知黎明 0000003000 3

享 栄 0000000000 0

第二〇回全国高等学校野球選手権 愛知大会

令和元年七月十四日(パロマ瑞穂球場)

(三回戦)五回コールド

大 成 00000 0

享 栄 0172x 10

令和元年七月二十日(小牧市民球場)

(四回戦)

星 城 010400110 7

享 栄 001010000 2

軟式野球部

【部 長】尾俣 治義



【監 督】松山 直樹



【コーチ】蔭地野由晃



谷出 基貴



成田 良樹



軟式野球部は現在八名の部員数で活動しております。専用のグラウンドが無い為に毎日マイクロナスで移動し色々なグラウンドで練習をしております。夏場こそ長く練習時間を持てますが、その他の時期はグラウンドまでの移動の時間を要し短時間しか練習できないのが実状です。よって春休みには遠征をして他校との練習試合を組むことにより練習場所の確保と技術の向上を目指しております。ジブシーの様にグラウンドを転々として本当に大変な思いをしております。指導者として最高の練習内容をしていると思っておりますが、何時でも練習できる他校とはハン

グが大きく試合結果につながって



いないのが現実です。今年春の総合体育大会では、愛知県で準優勝し、第六十六回東海総合体育大会では、優勝することが出来ました。全国大会につながる県予選では二回戦敗退、私学祭も二回戦敗退という結果となり、新チームで挑む新人戦は人数不足のため予選を辞退しました。試合の勝敗だけが指導ではなく『挨拶と礼儀』を重んじた『心の人間形成』の指導もあり、後者では他校に負けないチーム作りをしていると自負しております。人数不足で未熟なチームではありますが、最終の目標は全国大会に出場することであり、その目標に向かって頑張っていきます。どうか同窓会の皆様もよろしくご支援の程お願い申し上げます。

ボクシング部

【顧問】中島 邦晴

岡本 泰典

内山 雄平



「それぞれが練習してきたことを出す」という目標を持って県大会に臨んだ結果、昨年度に続き、二年連続でインターハイ出場することができました。

今年には三年生が五名と二年生七名、二年生二名で愛知県予選に挑みました。三年生たちが最後の大会に悔いを残したくないという気持ちで奮闘したこともあり、LF級の浅野、F級の貝田が三位に、P級の村手、L級の安井、LW級の墨が準決勝、B級の大橋、W級でキャプテンの中村が優勝をし、県大会での総合優勝は逃したものの、総合成績二位という結果を残すことができました。他にも同門対決で惜しくも入賞することができなかった選手もいますが、みな自分の力を出すことができたように見えました。チームで協力して全員で応援して掴むことができた結果だと思っています。

宮崎県で行われた第七十三回全国高等学校総合体育大会ボクシング競技では三年の大橋と中村が出場しました。W級の中村はシードに入り二回戦からの出場でした。相手の大阪の選手はスピードのある選手でした。結果は判定負けでしたが、積極果敢にプレッシャーを掛け、相手の動きを封じ込める中村らしいボクシングをするところが見られました。この試合で得るものも多く、その後のスパarring

でもレベルを上げております。先日行われた福井合宿では大学生を圧倒する内容を見せていました。来年度も進学する関西の大学で活躍してくれることを楽しみにしております。B級の大橋は初戦から地元宮崎の強豪と当たるものの、持ち前のキレのあるワンツート、その後の多彩なコンビネーションで二回戦は判定勝ち、二回戦はダウンを奪いレフリーストップ勝ち、そしてその勢いに乗って三回戦、準々決勝と順調に勝ち進んでいきました。準決勝では春の選抜大会で優勝した愛媛県の第一シードの選手でした。序盤にペースを取られてしまい苦戦を強いられましたが、三ラウンド目には良いパンチを当てペースを取り返し、大橋優勢で試合を終えることができました。われわれは大橋の勝利を信じ判定が出るのを待ちましたが、審判が挙げたのは相手の手でした。大橋にとつて優勝という目標に届かず悔しい結果のインターハイになりましたが、高校からボクシングを始め、全国の強豪と渡り合えるまでになるためにしてきた大橋の努力を顧問として誇らしく思います。大会では多くの大学からも声を掛けてもらい、四月からは関東の大学に進学し、活躍してくれることを楽しみにしています。

今年には三年生五人、二年生七人、二年生四人の計十六人で活動してまいりました。三年生はキャプテンを中心に協力し合いチームを良くまとめてくれたと思います。今回のインターハイの県予選、インターハイ、国体県代表選考会ではそれぞれが経験を積み、得るものがたくさんありました。試合以降訓練の雰囲気も変わり、緊張感がこちらにも伝わってくるようになりました。

今では二年生は先輩に追いつくこと、二年生は同期、後輩に負けな

ようにと全国大会出場を目指して練習に励んでいます。それぞれ怪我をすることなく悔いのない練習をして大会に臨んで欲しいと思います。今後ともご声援よろしくお祈りいたします。



ソフトテニス部(男子)

【顧問】中川 孝浩

鈴木 直也

近藤 主税

石田 和裕



男子ソフトテニス部は現在、三千九名(二年生十二名、二年生十六名、三年生十一名)で活動しています。今年も二年生が多数入部し、人数が多い中で全員一丸となり切磋琢磨しながら毎日の練習に取り組んでいます。

今年度は、男子は愛知県総合体育大会で神谷・小野ペアが第三位

に入り、東海高等学校総合体育大会へ出場しました。また、国民体育大会愛知県予選では角谷・三井ペア、神谷・小野ペアがベスト十六に入りました。

新チームになってからも、市民スポーツ祭優勝、名南支部の学年別大会で男子二年生の部で角谷・稲垣ペア、都築・池井ペアがベスト四という成績を残しました。夏休みには合宿、県外遠征の他、ソフトテニス部二回目となる韓国遠征を行いました。ソフトテニスを通じて海外の学生と交流を深めました。また、技術だけでなく練習の取り組み方や考え方について様々な良い刺激を受けました。

今後日々の練習を通して仲間存在の大切さ、努力することの大切さを学び、多くの人によって支えてもらいテニスができるということに感謝し、二層練習に取り組みしていきたいと思っています。テニスの技術だけでなく人として大きく成長できるように今後とも頑張っていきますのでよろしくお祈りいたします。

ソフトテニス部(女子)



女子ソフトテニス部は現在、十一名(二年生二名、二年生四名、三年生五名)で活動しています。

今年度、女子は創部以来初となる、愛知県総合体育大会の団体戦で県大会出場を果たしました。また個人の部でも八明・三輪ペアが名南予選でベスト八に入り県大会出場を決めました。県大会では惜しくも負けてしまいました。女子ソフトテニス部に新しい歴史を刻むことが出来ました。

新チームになつてからも、名南支部学年別大会で女子二年生の部で中森・田畑ペアが準優勝、一年生の部では野々山・吉田ペアがベスト四という成績を残しました。三年生が引退した後も、後輩たちが懸命に練習をし、力をつけてきています。また、女子ソフトテニスとしても遠征を行いました。近年チームの力が付いてきた事もあり、様々な大会に招いて頂けるようにもなれ、生徒達にとつても良い経験をさせて貰っています。

現在は少人数の中ではありますが、一人一人がチームを背負って立つ自覚を持ち、チーム一丸となり日々の練習に励んでいます。秋の新人戦では良い結果が出せるように、これからも周りへの感謝を忘れずに頑張つていきたいと思います。

陸上部

【顧問】杉山 貴史



島田 莉子



寺本 蓮



享栄高校陸上部は、十三名の部員で活動しています。毎日の練習の中で、陸上競技を通して人としての成長と競技力の向上を目的として活動しています。大会で自

己記録を更新するために走る事だけではなく、学校生活を大切に過ごす事を心掛けています。具体的には挨拶をしつかりとする事や勉強に一生懸命取り組む事、どんな人に対しても感謝の気持ちを保持して接する事です。その事を陸上部の活動として取り組んでいる事があります。それは、学校の食堂掃除です。毎日昼休みの時間に行つています。陸上競技とは関係ない事かもしれませんが、全員で一つの事に取り組む事で、チームワークや奉仕の心、感謝の気持ちを培う事が出来ます。人としての心を鍛える事が、競技力の向上につながります。技術だけではなく、精神面を強くする事を大切にして、今後も活動していきます。



バレーボール部(男子)

【顧問】神谷 修平



小澤 大輔
酒向 俊幸



今年度、男子バレーボール部は二年生十四名入部し、総勢二十七名で日々、練習に励んでいます。

七月に行われた「令和元年度愛知県選手権大会、バレーボール競技」名古屋南支部予選会において、「二回戦敗退」というような結果が出ています。そのため、今年度の目標として、県大会に出場を掲げ、練習に取り組んでいます。



一人一人の技術面の向上に加え、心身共に成長させることにも重きを置き、学校生活を有意義に送れるよう日々、指導しています。部活動を通して、物を大切に、綺麗に使うことを学び、人として成長できるように心がけています。

男子バレーボール部が良い環境で練習できているのは、多くの方々からの支援によって活動できています。日々、そういった事を忘れず、活動していきたいと考えているので、今後ともよろしくお願ひ致します。

バレーボール部(女子)

【顧問】高柳 裕



小澤 大輔



鈴木 健悟



上野 勇樹



女子バレーボール部は、普段の学校生活を大切にしながら、享栄生としての自覚と誇りを持って活動しています。一年生から三年生まで総勢十九名が、平日の基礎練習から始まり、曜日によってチームの総合練習や体力トレーニング等を行っています。週末や長期休業中には練習試合を行っており、日頃の練習では気づかないことを知る、良い機会となっています。チームの人数は多くはありませんが、全員が目標である「予選突破」「県大会出場」の目標を実現するために、一生懸命練習に取り組んでいます。決して簡単な目標ではありませんが、今までの先輩方が築きあげたものを大切に、日々の練習の積み

重ねと個々の努力がチーム全体の力となることを信じ、元氣よく全力で練習に取り組んでいきたいと思ひます。



サッカー部

【顧問】永田 伸輔



千田 昇



井口 琢麻



服部 慎司



今年度のサッカー部は二年生から三年生まで合計約七十名の部員で活動しています。主に、天白にあ



るグラウンド、鶴舞のグラウンド等で練習をしています。
 教員はサッカー専門で活躍してきた四名で見えています。一年生は学年単位で活動をしますが、二、三年生はTOPチームとセカンドチームに分かれ活動しています。
 今年度のリーグ戦は昨年度、地区リーグから県リーグへの昇格を決め県四部リーグで戦っています。

またセカンドチームをリーグ戦に出場させ計二チームがリーグ戦を戦っています。
 また一年生もルーキーリーグに参加して今後の成長につなげようとしています。本年度はニューパランスチャンピオンシップ大会にも出場予定で全国の強豪校を相手に試合を行い成長につなげていきます。各カテゴリーごと目標を持ち日々の厳しいトレーニングに臨んでいます。

トーナメント戦では別々だったカテゴリーが一つになり県大会BEST八を目指します。
 全員が努力しその中で大人として成長していける部活を、またサッカーでも結果が残る、たくさんの人から応援されるような部活である様頑張っていきます。

バスケットボール部(男子)

【顧問】前川 進也
 豊永 真美
 梅村 駿斗



男子バスケットボール部は、二年生八人、一年生七人の計十五人で新チームとして活動しています。
 平日は、享栄高校の体育館を使って個々の基礎能力を向上させるため、ハンドリング、ドリブル、シュート、ディフェンス練習(対人)などのフアンタメンタルを中心に行い、練習の終盤には、三対三などを通して考えて動くことを目標にしたチームプレイの練習をしています。休日

は、オールコートを使った個人技術の練習やトレーニング、ゲーム形式の練習を中心に行っています。また、技術の向上や改善点の発見を

目的として、県大会常連校などと練習試合を行っています。八月には、長野県へ遠征をして、他県のチームとのトーナメントで四位になることができ選手にとって良い刺激となりました。

今後は十月に全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会愛知県大会、一月に新人戦大会を控えています。さらなる技術の向上、精神面の向上を目指し、必ず県大会へ出場するという強い意思を持って頑張っていきたいと思えます。応援よろしくお願ひします。



バスケットボール部(女子)

【顧問】清水 大介



豊永 真美

西山 悟史

私たちが、女子バスケットボール部は現在、八名で活動しています。今年度は二年生二名が新しく入部してくれました。人数は少ないですが、「応援されるチームになることを目標に日々練習に励んでいます。」

練習内容としては、個人の技術向上を目的とした基礎的な内容が大半です。各々の生徒が自分自身のレベルに合わせて目標を持ち練習に取り組むことができています。部活動は週五日間活動しており、土曜日、日曜日には他校との練習試合をすることが多いです。人数が八人しかいないために、五対五を行うことが普段の練習ではできないために他校との練習試合は非常に貴重な機会となっています。その結果、六月末には公式戦で初勝利を挙げることができました。二回戦目では、あともう少しの所で負けてしまし、とても悔しい思いをしています。しかし、その悔しさやバネにより一層、練習に身が入っていきました。夏休みには、昨年と同様に知多で合宿を行いました。今年度の合宿は、例年に比べ大変暑く、集中力を保つのが大変でした。そんな中でも、生徒たちはお互いに声を掛け合い、練習をおこなうことができました。

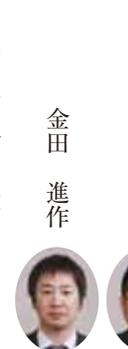
これからもバスケットボールを通じて、スポーツの楽しさや礼儀、使命感を生徒の人生において、善い影響を与えられるように指導して

いきますので、応援よろしくお願ひします。



柔道部

【顧問】佐々木康治



金田 進作

柔道部は今年度新たに二年生男子が二名加わり、計十六名で月曜日から金曜日までの週五日間二日三時間程度活動しています。

部活動報告といたしましては、四月に行われた愛知県総合体育大会名南地区予選にて男子団体が八位、女子団体は四位となり、男女揃って団体戦にて県大会へ出場することができました。さらに五月に行われた愛知県総合体育大会では個人戦において、女子五十二kg級と女子五十七kg級でベスト八まで進むことができました。また八月に行われた名南学年別選手権大会では、出場した五名の生徒が健闘するなど、以前より

も優秀な大会成績を残すことが出来るようになりました。

私が指導者として掲げる目標は、柔道の厳しい練習を通して生徒の人間教育を行うことです。厳しい稽古を乗り越えることにより、苦しい状況に立ち向かう強い精神力・忍耐力を身に付け、日本及び国際社会において活躍できる優秀な人材を育て上げたいと考えております。

部員が3学年合わせて16名となり、柔道場は毎日活気に溢れています。部員同士大変仲が良く、お互い励まし合いながら、楽しく柔道の練習に取り組んでいます。また部員全員が真面目に練習に取り組み、自ら積極的にトレーニングや技の研究を行っており、日々彼



らの成長を感じる事ができます。今後の活躍がますます期待できる生徒ばかりです。

柔道部は生徒の安全確保を最優先としながら楽しく柔道を続けること、有段者の証である黒帯取得することを一番の目標に掲げています。またそれと共に、県大会上位進出、憧れのインターハイ・東海大会出場を大きな目標として、今後も一生懸命指導に取り組みしていきたいと考えています。

ハンドボール部

【顧問】日野 隆徳

鈴木 準平



私たちハンドボール部は、今年度一年生が十名加わり、二年生十二名と合わせて二十一名の部員で日々練習に励んでいます。毎週、月曜から金曜までの五日間、一日二時間程度活動しています。休日には他校との練習試合を積極的に行い、個々の技術やチームワークの向上に励んでいます。ハンドボールという競技は、七人で、試合は二十五分ハーフで行われます。コートはバスケットコートよりも大きいサイズで行います。ルールは、ドリブルやパスの様にボールを回し、フットサルと同様のゴールに投げ入れる。醍醐味は何と云ってもシュートシーンとスピード感溢れる試合展開です。激しく体をぶつけ合い、ディフェンスをかき分け、ゴールを狙う。エキサイティングなプレーは一度体験すると必ず虜になります。昨年は各大会に出場しましたが、良い成績を残すことはできませんでした。しかし、今年度新チームになり、活気溢れる良い雰囲気練習に励んでいます。一人ひとりが日々高い意識を

持つ練習に励み、共に汗を流し、互いがライバルとして部員同士成長してほしいと考えています。そのためには限られた時間、限られた練習環境の中で質の高い練習をします。まずは「勝を目標として励んでいきます。」



卓球部

【顧問】水野 敏伸

大島 律

岩崎 剛



卓球部は、本年度多くの二年生



が入部し、例年以上に活気ある中で日々の練習に励んでいます。練習内容においては、基礎練習を中心に行い、また試合形式の練習を行うことにより、個々の卓球技術の向上を目指しています。卓球部は小学校から卓球を続けている経験者もいますが、高校に入ってから卓球を始めた初心者もいます。それぞれがアドバイスをしながら、試合で二回でも多く「勝つ」ということを目標に日々練習に励んでいます。

チアリーディング部

【顧問】松尾 崇広

梅屋 舞花



今年度は各季新人戦や、中部日本卓球選手権・後藤杯等のオープン戦など各種大会に出場しています。中でも高校総体予選では、学校対抗団体戦およびダブルスにおいて県大会出場を果たし、またシングルでは三位入賞という素晴らしい結果を残しています。また、高体連主催の名古屋南支部卓球選手権大会では、男子学校対抗で優勝することが出来ました。試合に出ない生徒も先輩やチームのために大きな声を出して応援していました。

例年以上に多くの公式戦に出場する中、残念ながら一回戦で負けてしまった生徒もいますが、努力の結果勝ち進む生徒もいます。今後もさらに活気ある卓球部として活動が出来るように、練習に励んでまいります。

「元氣・笑顔・思いやり」私たちは、この言葉をモットーに、三年生二名・二年六名・一年生五名で日々練習に取り組んでいます。

チアリーディングという競技は観ている人に「元氣・勇気・笑顔」を届けるスポーツです。たった二分三十秒の中で、スピード感あふれる技の数々を展開し、100パーセントの演技を成し遂げる、笑顔の真剣勝負と言えます。自分の上には仲間への魂、自分下には魂を賭けて支えてくれる仲間がいる。そんな信頼関係で成り立つ心のスポーツです。

今年の六月に行われた、中部チアリーディング選手権大会では、

剣道部

顧問 直江 崇



「全乗せ、全魅せ」仲間感謝... 大会出場を目指しました...

朝川 翔平



佐藤 五月

剣道部は昨年度、同好会から部への昇格を果たし、新一年生を迎えて男子十三名、女子二名の計十四名で活動しています...

主な活動は、平日の放課後と土曜日の午前中ですが、日曜日や祝日も練習試合や合同強化練習会に積極的に参加し、県大会出場を目指して努力しています...

夏休みは体力作りや徹底した基礎練習を中心としたメニューで力をつけ、新チームで初出場の大会となった愛知県工業大会では、予選リーグ敗退という結果でしたが、自分達の現在地を知り、具体的な目標とモチベーションを作る良いきっかけとなりました...

秋の新人戦に向けて、これからさらには他校との合同稽古や練習試合も積極的に組んでいく予定です...

部員の高いモチベーションに応えられるよう、今後も顧問三名精一杯、部員と共に努力していきたいと思っています。

アーチエリー部

顧問 杉浦 俊也



本多絵美子



竹内 遥亮



田畑 伸晃



合計十七名、顧問四名で活動しています。新チームとなり、まだまだ未熟な点もありますが、部員全員が「上手になりたい」「勝ちたい」「もっと点数を伸ばしたい」という気持ちを持って、生懸命毎日の練習に励んでいます...

これからも一人一人が高い意識を持ち、「享栄高校アーチエリー部」としてより高い目標の達成ができるようにチーム一丸となって頑張っていきたいと考えています...

吹奏楽部

顧問 佐藤 健一



今年度の吹奏楽部は、新二年生、三年生合わせて二十二名での活動が始まりました。四月の新人部員勧誘期間に部員で力を合わせた結果、新たに十一名の二年生を迎えることができました...

夏のコンクールに向けての練習がはじまりましたが、例年以上に初心者割合が多く苦労しました。昨年度は十年ぶりに「のコンクール」で「銀賞」を獲得し、その流れを何とか引き継ぎたいという強い思いのもと練習を重ねました...



楽コンクール、中部日本吹奏楽コンクール共に【銀賞】を獲得することができました。

またコンクールと同時に毎年行う硬式野球の応援も例年以上に頑張りました。硬式野球とチアリーディング部との打ち合わせや合同練習を重ねて準備し応援に臨みました。

夏休み期間は、秋の演奏会シーズンに向けての練習に切り替えて活動しました。「享栄祭」での演奏を始め、名古屋シテイハンディマラン「私学連合音楽祭」「栄街じゆう音楽広場」「吹奏楽フェスティバル」などの多くの演奏の機会に恵まれています。

二月十五日(土)には同校アトリウムにて「第二十七回定期演奏会」を開催します。三年生の部員にとつては引退演奏会となりますので、特に頑張つてほしいと願っています。今後とも暖かいご声援をよろしくお願い申し上げます。

写真部

【顧問】佐伯 樹弘

石田 梓

林 里香

遠藤 豪



今年は二年生が二十一名入部し、全員で二十五名の大所帯となりました。近年のスマートフォンの高性能化により、誰もが手軽に写真を撮り、日々の部活動では楽しく活動をしております。

毎年の目標となりましたが、「写真甲子園」での本戦出場を目指し三人一組のチームを組んで努力をしています。

また、本校の活動をよりアピールできるようと、ボランティア活動や街頭募金活動を撮影したり、運動部の部活動の大会を撮影し、文化祭での展示会を行っています。ホームページでも生徒が撮影したものを活用していただき、本校の良さを伝えていきます。

日頃の部活動では自分達が撮影した写真をより良く見せるために、パソコンを使い、明るさの加減や色合いを変えたりと、高度な編集技術を身に付けることができてきました。顧問が指導することもありますが、今は上級生が後輩へ教え、伝えていくというスタイルが主流となっており、部内でのコミュニケーションが多くとれる部活となっています。技術を先輩から後輩へ、次の世代へ繋げていく、理想としての形ができてきたのではないかと感じます。部活動の結果が残せられるように、更にと、更に技術を磨き、部員一丸となつて頑張りたいと思います。



理科部

【顧問】佐川 貴之

近藤 義高

加藤 清香

宮崎 夏澄

宮澤 夢実



理科部は今年も多くの生徒が入部し、四十五名の部員数となりました。今年度は実際に必要な基礎知識を身につけるために化学反応式や濃度計算などの講義や演習問題を行いました。これらの内容を踏まえて身近な材料を用いて化学・生物・物理分野の実験をしています。一学期は食塩を使つての結晶の作成と観察、野菜からDNAを抽出する実験、消化酵素の働く条件を調べる実験、液体窒素を用いての雲の作成など基礎的な実験を行いました。結果だけ終わることなく理論を学び考察を行い、理解できるようにしました。二学期以降も、これまで行ってきた活動をベースとして、より幅広くいろいろな実験を取り入れていきたいと思っております。



降も、これまで行ってきた活動をベースとして、より幅広くいろいろな実験を取り入れていきたいと思っております。

理科部では、自らやりたいことを考え、調べ、会議を行い、意欲的な活動を続けています。その上で、わからない所は顧問が解説・指導を行い、共に考え、全体的な理科の知識・思考を高めています。また、大部員が増えているのに伴い、これまで以上に安全管理にも気をつける必要があります。今後「身近なことに興味をもち安全に理科の面白さを学ぶ」ことを目的に理科部は、活動を続けていきます。

ワープロ部

【顧問】兼山 彰宏

宮下 宏明

稲熊 誠



ワープロ部は、現在、三年生九名、二年生四名、合計十三名で活動を行っています。

少ない人数ですが、全商ビジネス文書実務検定試験や文書デザイン検定試験の合格を目指して練習を重ねています。授業の先取り学習や上位の検定試験にも段階的に挑戦できるので、達成感を味わいながら、目標に向かって前向きに努力しています。

今年、三年生で二学期中に行われた検定試験の二級に合格した生徒がおり、二年生は、商業科以外に普通科や機械科の生徒もいるため、二学期の検定試験を目標に学習を進めております。主な活動内容は、コンピュータの基本的な操

作に慣れ、より速く、正確な入力方法を身に付けるためタイピングの練習をしています。制限時間内により多くの文字を入力しなければならぬので、ミスがないように集中して取り組むように心がけています。また、資格取得以外にもコンピュータを使いこなせるように楽しく活動しています。

茶華道部

【顧問】直江知恵美



今後とも目標に向かって日々の鍛錬を重ね、進路実現につなげる部員、本校におけるコンピュータに関する学習を牽引していく生徒が増えたいと思っております。

茶華道部は、男子七名、女子二十名の二十七名で活動しています。素敵なお茶室になつてから、十六年を迎えています。年数を重ねることにより多くの生徒に親しまれ、伝統という重みを感じられるようになりました。部員達も充実感や達成感を味わいながら練習に励んでいます。

練習成果を文化祭や土曜セミナーでご披露させていただいたり、校外のお茶会にも参加しています。特に二月には、稲沢市にあります国府宮籬追殿において「なおい茶会」に参加し、貴重な体験をさせていただいております。また、年に数回ではありますが、生け花や浴衣の着付けもあわせて活動しています。

これからも、古にお励み、機会があれば多くのお茶会に参加しながら精進してまいりたいと思っております。



美術部

美術部は毎週水・木・金の三日間、活動しています。その他の日は進学補習に参加したり、上級の検定試験に挑戦したりと、目標に向かって有効に時間を使い頑張っている生徒が多いのが特徴です。絵画を基本とし、デザイン画・砂絵・切り絵や、粘土・藤・その他様々な素材を用いて工夫して創作活動に取り組んでいます。

例年、文化祭でささやかな作品展を開いています。今年の文化祭では「スクラッチアート」と自由作品の展示を行います。同時に、各クラスでの文化祭企画の中核となつている頼もしい生徒が多いです。今年もクラスTシャツのデザインや、クラス旗作成、クラス展示物の作成などで活躍し、担任の先生に頼りにされています。



漫画研究部

卒業生たちはみな、在学中には勉強にもこつこつと取り組み、良い成績を残してきました。美術系の大学や専門学校、一般企業など、進路は様々ですが時々嬉しい知らせを聞かせてくれます。デザイン専門学校卒業後、福祉関係の職場で得意の絵画を生かして活躍していること、本校の土曜セミナーや各地でのセミナーの講師として一般の市民や中学生に人気の講座を開講していることなど、卒業生の活躍を知ることが本当に嬉しいものです。ぜひ近況を知らせてに立ち寄ってください。楽しみにしています。

まんが研究部としての活動のメインである第二十三回全国高等学校漫画大会(選手権大会)の予選(テーマ「スーパーボランテア」)でしたが、そこに通ることができず、本戦への出場はかないませんでした。今後、名古屋にお見えになる機会がある審査員の先生にアドバイスを頂き、本校の「まんが甲子園」出場にリベンジを果たしたいと思っております。



また昨年から設けられた「世界まんがセンバツ」に応募して、賞品である来年の夏のまんが甲子園大会見学に挑みたいと思います。普段の部活動の中では、色々なコンテンツを採って応募をしたり、お互いの作品の講評を通じて各自の画力のレベルアップを図っていきたいと思います。

本年入部の部員は二名です。三年生一名と合わせて三名です。活動内容は、新刊本の配架作業を中心に、コラム学習や、俳句作りなど、例年になく活発です。しかも、物覚えが良く、作業にかかる時間が日に日に早くなつていきます。

二年生がいらないだけに、二年生が今後の核となつていくべく、活動の幅を広げていけたらと考えています。

さて本年のテーマは、「冬休みに読書感

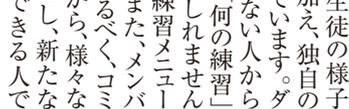


想文を「本書き上げたよ」です。配架作業の中、どの冊にするか、選書をしている様です。地道な活動ですが、本に親しむ事が、いつか生きてくれると思ひ、励んでいる所です。

ダンス同好会は、三年生十二名、二年生九名、一年生十四名の合計三十五名で活動しています。活動日は月曜から金曜までの課業日、活動場所は「Fアトリウム」です。毎日忙しい状況の中でも、精力的に活動しています。

さて、今年度の状況についてご報告させていただきます。学校内では「文化祭」「予餞会」などの学校行事に参加、発表する場をいただいています。学校外では各種ダンスイベントの発表へ参加するという活動をしていきます。今年度は「令和元年度博物館地域夏祭り」への出演依頼があり、無事に終えることができました。今まで学校外で発表する機会があまりなかったのが、更に発表する機会が増えるとういと考えています。なお、大きな大会等に出場したことがないので、そういう機会があれば参加したいと考えています。

次に、在籍している生徒の様子ですが、練習に工夫を加え、独自の練習スタイルを確立しています。ダンスの事を詳しく知らない人から見ると「遊んでいる」「何の練習」という疑問がわくかもしれません。が、生徒たちは考えて練習メニューを組み立てています。また、メンバー相互の意思疎通を計るべく、コミュニケーションをとりながら、様々なバリエーションを創りだし、新たなダンスパフォーマンスができる人



あると期待しています。そういう事を考えていくと、今後が楽しみです。

最後に、在籍している生徒には、現状に満足することなく、更なる向上心を持って取り組んで欲しいと願います。



合唱同好会

【顧問】吉田 衣里

上田 達也

富田 美紅



合唱同好会は一年生五名、二年生五名、三年生十名の二十名が所属し、共に合唱を楽しんでいます。週に二度、月曜日と木曜日に集まり、活動をしています。文化祭や予餞会などの学校行事に参加し、日ごろの練習の成果を披露しています。

数年前と比べると人数が増えたため、パート練習を充実させ、丁寧

に歌うことを心掛けています。また、合唱を経験したことがある生徒や、ピアノが得意な生徒たちも増えたため、生徒たちが自発的に練習をすることができるようになりました。



現在練習しているのは第七十三回NHK全国学校合唱コンクールで課題曲となっていた、「虹」という曲です。この曲は、主旋律と副旋律の入れ替わりが多く、ソロもあるため難しい曲です。中学生の頃にも、「虹」を歌ったことのある生徒もおり、思いついたこの曲を享栄高校の合唱部でも歌えるようになりたいという思いで練習に励んでいます。

合唱同好会の大きな目標は、ボランティアやコンクールなど、学校の外で合唱を発表することです。合唱の上手さでは、まだまだ伸びしろのある生徒たちですが、歌うことの楽しさによく知っています。歌うことの楽しさを合唱同好会のメンバーと共有し合うだけでなく、発信していけるような同好会へと成長していきたいです。

情報処理同好会

【顧問】大矢 貴子

近藤真紀子



情報処理同好会は一年生が七名、二年生が十二名、三年生が十九名の合計三十八名が活動しています。

活動内容は情報処理検定の部門のうち、表計算(エクセル)検定の合格を目指して取り組むことです。

片山 一成
山田 秀和



また、表計算以外にも、タイピング練習やワードなど、自分のスキルを上げるための練習なら自由に組み立てています。

お互いが切磋琢磨して、検定試験の上級合格を目指して頑張っています。

お互いが切磋琢磨して、検定試験の上級合格を目指して頑張っています。

情報技術同好会

【顧問】松本 亮一

佐伯 樹弘



情報技術同好会は、もともと機械実習部として発足し、金属加工を中心としたものづくりの活動をしておりまして。

十五年程前、東海地区アイディアロボット競技大会出場を契機に総合的な活動を目指し、情報技術部へと部名を変更しました。

当時、競技大会に向けて連日遅くまで活動し、競技大会前日には保護者の方から夜食の差し入れをして頂き、大変ありがたかった思い出もあります。

青山 昂平
米津 邦義



競技大会の成績は振るいませんでしたが、「与えられた課題を工夫と技術で乗り越えていく」という情報技術部の原点が育まれた時期でもありました。

その後、部員数の減少とともに部から同好会へ降格されるなど低迷が続きました。さて、現在の情報技術同好会は、五名の顧問体制となり、それぞれの知識を持ち寄り、活動しています。

また、活動のフィールドも広がり、新しい競技大会にもチャレンジするようになりまして。

部員も三年の浅田君を部長に据え、個性豊かな個々がこだわりの集団とな

なりました。部員も三年の浅田君を部長に据え、個性豊かな個々がこだわりの集団とな



簿記同好会

【顧問】今井 悠斗

安藤 孝将

遠藤 慶明



つています。普段の活動はものづくりに必要な旋盤や溶接の練習をしています。大会が近くなると喧々諤々の話し合いのもと設計図を完成させて試作とテストを繰り返します。

今年度は、「ソーラー&人力ポータトレース全日本選手権大会」に出場し、人力部門においてあと二歩のところまで学生総合優勝を逃しましたが、完全復活し、機械実習部から続く伝統を今も繋いでいます。

簿記同好会では、放課後、地道に活動を行い、日商簿記検定、全商簿記検定、全経簿記検定の合格を目指して勉強しています。授業の先取り学習や上級の検定試験にも段階的に挑戦できるので、達成感を味わいながら、目標に向かって前向きに学習に取り組んでいます。今年度は、二、三年生とともに、難易度の高い全商簿記検定に挑戦し、同好会の仲間と協力し、教え合いながら、順調に学習を進めています。就職や進学に役立つ資格を取得するだけでなく、簿記の勉強を通して、経営や経済について学べるため、商業科の生徒だけでなく、普通科や機械科の生徒にもおすすめです。

今後とも目標に向かって学習を重ね、進路実現や、本校において簿記の学習を引っ張っていく部員が増えて欲しいと思います。



文化祭



今年度はテーマを「飛show」として実施しました。生徒一人ひとりが大切な一片であることや、平和、勝利などテーマを意識したクラス企画や模擬店で2日間盛り上がりました。



体育祭



パロマ瑞穂北陸上競技場で実施しました。天候が心配されましたが、無事に行うことができ、クラスで団結した生徒の姿は、「ONE TEAM」そのものでした。また、たくさんの笑顔も見られました。

同窓会事務局からのお知らせ

平成13年9月から享栄高等学校のホームページが開設された事はすでにご報告済みです。その中に享栄同窓会のホームページも開かれており、何時でも同窓会の情報に接する事が出来ます。また、享栄高等学校100周年記念冊子が事務局にございます。ご希望の方は事務局までお問い合わせください。数に限りがございますので、ご希望の方はお早めにご連絡ください。

ホームページアドレス

<http://www.kyoei-h.ed.jp>

平成10年から享栄同窓会終身会員制度が設けられました。会則によって会費納入が一万円になった方は、終身会員に登録され、以後の会費納入が不要となりました。又平成10年以降の卒業生の方は、全員卒業時に終身会員として、一万円納入頂いております。

訃報

昨年5月監事の神谷新恵さまがお亡くなりになりました。長年、同窓会にご尽力頂きました。ご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

第四十六号も皆さまのご協力により発刊することができました。

さて日本国内では、昨年も台風や豪雨の被害、高温多湿による熱中症被害など、異常気象を多く被った年となりました。どうか今年こそ平穏であつて欲しいと願っています。今年度は、東京でオリンピックが五十六年ぶりに行われます。日本中が熱気に溢れた二〇二〇年になる事でしょう。

令和という新しい時代となり、同窓生の皆さまのご健勝と母校のさらなる発展を願ひ、併せて同窓会活動に対してお支援の程お願いいたします。

享栄会報はホームページからも閲覧できますので、ご友人の方々にもお知らせください。

(同窓会事務局)

令和元年度
享栄同窓会役員名簿

役職	氏名	卒業年度
名誉会長	長谷川 信孝	
相談役	塩田 郁夫	昭和17年
会長	細江 利夫	昭和40年
副会長	岩月 宏之	昭和36年
〃	西脇 いずみ	昭和42年
〃	山中 庄吾	昭和47年
〃	兼本 尚浩	昭和50年
〃	植木 広次	昭和59年
〃	畑中 清詞	昭和60年
〃	富田 勝也	昭和63年
〃	遠藤 隆一郎	平成2年
〃	大林 順子	平成5年
監事	神谷 新恵	昭和35年
〃	下村 眞由美	昭和42年
事務局長	南保 眞一	
事務局	彦坂 明人	昭和58年
会計(事務長)	坂野 勝彦	

令和元年度 享栄同窓会事業計画

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

月 日	摘 要	月 日	摘 要
4月 5日	享栄高等学校 入学式590名	1月中旬	役員会 享栄会報ゲラ刷り読み合わせ
4月15日	会計監査		ローズコートホテル 18時～
4月20日	役員・常任幹事会 ローズコートホテル 17時～	1月下旬	享栄会報第46号 3,000部発刊予定
5月18日	総会・懇親会 ローズコートホテル 17時～20時	2月19日	享栄高等学校 卒業式予行練習
7月下旬	享栄会報第46号 原稿依頼		細江会長より同窓会入会について説明
12月中旬	享栄同窓会奨学金授与	2月20日	享栄高等学校 卒業式(名古屋市公会堂)

主な
事業内容

- (1) 総会実施に関する事項
- (2) 享栄同窓会報発刊に関する事項
- (3) 成績優秀な卒業生に対して記念品贈呈に関する事項
- (4) 同窓会奨学金に関する事項
- (5) 部活動奨励費に関する事項
- (6) 慶弔に関する事項
- (7) その他必要に関する事項

令和元年度 享栄同窓会予算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

基本金の部
収入の部

科 目	金 額	摘 要
入 会 金	1,272,000	卒業生636名*2,000 = 1,272,000
受 取 利 息	7,500	受取利息
前年度繰越金	15,200,054	平成30年度から
合 計	16,479,554	

支出の部

単位:円

科 目	金 額	摘 要
	4,000	H30年度 返金分 2名*2,000 = 4,000
次年度繰越金	16,475,554	令和2年度へ
合 計	16,479,554	

一般会計の部
収入の部

科 目	金 額	摘 要
会 費	5,088,000	卒業生636名*8,000 = 5,088,000
受 取 利 息	4,200	
総会参加費	200,000	
前年度繰越金	21,173,990	平成30年度から
合 計	26,466,190	

支出の部

単位:円

科 目	金 額	摘 要
記 念 品 費	400,000	総会及び優良卒業生記念品購入
会 合 費	300,000	役員会及び幹事会
慶 弔 費	150,000	香典、生花、御祝金等
消 耗 品 費	200,000	事務用消耗品費等
事 務 費	300,000	事務局人件費
手 数 料	600,000	振込手数料・発送諸費用
印 刷 費	500,000	会報・役員会案内状等印刷費
通 信 費	350,000	会報・役員会案内状等送料
旅 費 交 通 費	50,000	旅費
協 賛 費	50,000	文化祭・同期会協賛費
総 会 費	1,600,000	5月開催
奨 学 費	900,000	9名*100,000
部活動奨励費	500,000	
預 り 金	16,000	H30年度 返金分 2名*8,000 = 16,000
予 備 費	1,000,000	
次年度繰越金	19,550,190	令和2年度へ
合 計	26,466,190	

※予算の流用又は予備費の支出については
会長の決裁により行うことができるものとする。



平成30年度 享栄同窓会事業報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

月 日	摘 要	月 日	摘 要
4月 7日	享栄高等学校 入学式581名	1月18日	役員会 享栄会報ゲラ刷り読み合わせ
4月18日	会計監査		ローズコートホテル 18時～
4月21日	役員・常任幹事会 ローズコートホテル 17時～	2月20日	享栄会報第45号 3,000部発刊
5月19日	総会・懇親会 ローズコートホテル 17時～		享栄高等学校 卒業式予行練習
7月下旬	享栄会報第45号 原稿依頼	2月21日	細江会長より同窓会入会について説明
12月15日	享栄同窓会奨学金授与 9名		享栄高等学校 卒業式683名(自校体育館)
	1年 西村かおり 三澤 歩実 尾崎 一希		同窓会長賞贈呈 7名
	2年 垣花 晃妃 小島 玲奈 吉崎 万琳		梅屋あずみ 細江 彰斗 水野 優作
	3年 安立 龍斗 伴 孝 吉岡 龍		畑中 裕 内藤 圭亮 小松 千尋
			早瀬 徳輝

平成30年度 享栄同窓会決算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

基本金の部

収入の部

科 目	金 額	摘 要
入 会 金	1,370,000	卒業生685名*2,000 = 1,370,000
受 取 利 息	7,652	
前年度繰越金	13,822,402	平成29年度から
合 計	15,200,054	

支出の部

単位:円

科 目	金 額	摘 要
次年度繰越金	15,200,054	平成31年度へ
合 計	15,200,054	

一般会計の部

収入の部

科 目	金 額	摘 要
会 費	5,480,000	卒業生685名*8,000 = 5,480,000
受 取 利 息	4,286	
総会参加費	176,000	
前年度繰越金	18,780,381	平成29年度から
合 計	24,440,667	

支出の部

単位:円

科 目	金 額	摘 要
記 念 品 費	298,944	総会・優良卒業生記念品購入費
会 合 費	162,696	役員会及び幹事会等
慶 弔 費	9,900	卒業式祝花
消 耗 品 費	9,504	事務用品
手 数 料	436,176	振込手数料・データ変換費用等
印 刷 費	169,680	幹事会案内状・会報等印刷
通 信 費	79,659	幹事会・役員会案内状・会報等発送料
旅 費 交 通 費	2,000	
協 賛 費	24,400	応援広告協賛費・同期会協賛費
総 会 費	1,128,718	
奨 学 費	900,000	9名*100,000
予 備 費	45,000	部活動奨励費
次年度繰越金	21,173,990	平成31年度へ
合 計	24,440,667	

基本金会計繰越内訳

三菱東京UFJ銀行鶴舞支店 普597241	10,944,314
ゆうちょ銀行 定期貯金	4,255,740
合計	15,200,054

一般会計繰越内訳

三菱東京UFJ銀行鶴舞支店 普594305	13,605,284
三菱東京UFJ銀行鶴舞支店 定期1184858	4,207,602
ゆうちょ銀行 0085-5-57903	218,092
ゆうちょ銀行 定額	3,029,374
現金	113,638
合計	21,173,990

平成30年4月1日から平成31年3月31日までの享栄同窓会の決算を監査しましたところ、諸帳簿・証憑書類の事実と相違ないことを認めます。

平成31年4月15日

監査者

下村真由美

